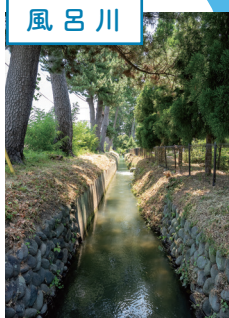


ウォーキングコース 距離:約2.5km/時間:1時間10分

① 群馬県庁	10分	② 臨江閣	風呂川	7分	③ 広瀬川制水門
風呂川	10分	④ 広瀬川美術館	5分	⑤ 交水堰	
5分	⑥ 前橋文学館	河畔緑地公園	10分	⑦ 中央前橋駅	



昔の面影を残す風呂川は、市街地内で分水しながら南流し、かんがい・防火・雑用水として広く利用されており、県庁前のお堀にもこの用水が流入しています。



河畔沿いを進むと朔太郎の詩碑があり、河畔緑地公園をぬけると中央前橋駅に到着します。

① 群馬県庁



② 臨江閣



本館と茶室は県・市の迎賓館として、別館が明治43年に共進会の貴賓館として建てられました。本館は県指定、別館は市指定の重要文化財となっています。

③ 広瀬川制水門



ここから広瀬川が始まります。

④ 広瀬川美術館



建物は、国登録有形文化財建築物に指定されていて、戦後の建物としては登録第1号という貴重なもの。また、まえばし都市景観賞も受賞。

⑤ 交水堰



河畔沿いを歩いて行くと比刀根橋の下流に交水堰があります。かんがい期に滔々と流れる清流の雄大さは迫力があります。

⑥ 前橋文学館



前橋の出身で、日本の文学史にひときわ輝く大詩人、萩原朔太郎を筆頭に、前橋ゆかりの詩人や文学者たちの原稿や遺品など、貴重な資料の数々を展示しています。

⑦ 中央前橋駅



写真提供: 前橋観光コンベンション協会